

地球を舞台に活躍する人たちを応援します。

## 2020年度 国際交流基金地球市民賞 応募ガイドライン

The Japan Foundation Prizes for Global Partnership 2020 Guideline

授賞件数	3件以内
授賞内容	正賞(賞状)と副賞(1件200万円)
応募締切	2020年8月24日(月)〈郵送の場合は、当日消印有効〉
発表	2021年1月下旬/国際交流基金ウェブサイトにて発表
応募先 問合せ	国際交流基金 コミュニケーションセンター 地球市民賞事務局 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーゼ Tel.03-5369-6075 / Fax.03-5369-6044 / Eメール chikyushimin@jpf.go.jp

応募ガイドライン・応募/推薦用紙

<https://www.jpf.go.jp/j/about/citizen/guideline/>



# 「2020年度国際交流基金地球市民賞」 受賞候補団体を募集します。

国際交流基金地球市民賞(以下、地球市民賞)は、1985年に創設され、本年度で36年目を迎えます。これまで109団体が受賞され、さらなる飛躍のきっかけとなるとともに、地域の活性化、地方創生にも貢献しています。

全国各地で、国際文化交流活動を通じて、日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、互いの知恵やアイデアを交換し、ともに考える団体を応援します。

## 【地球市民賞概要】

### 対象となる団体

公益性の高い国際文化交流活動を行っている日本国内の団体。

※団体の法人格は問いませんが、地方自治体は対象となりません。

### 対象とする活動

#### 1 文化・芸術による地域づくりの推進

日本と海外をつなぐ文化・芸術の交流を通じて、豊かで活気のある地域やコミュニティをつくる活動など。

#### 2 多様な文化の共生の推進

外国人の多様な文化(言語教育を含む)を理解、尊重し、ともに豊かで活気のある地域やコミュニティを築いていこうとする活動など。

#### 3 市民連携・国際相互理解の促進

共通の関心や問題意識を通じ、日本と海外の市民同士の連携や相互理解を深める活動など。

### 5つの 選考ポイント

#### 1 先進性

国際文化交流の一つのモデルとして、他の団体の参考となる活動であること。

#### 2 独自性

独自のアイデアを活かした活動であること。

#### 3 継続性

少なくとも3年以上、着実な活動をしてきていること。

#### 4 将来性

今後も着実に活発な活動が継続されることが見込まれること。

#### 5 社会に対する影響力

社会的な広がりや浸透力のある活動であること。

## 応募方法

全国より、自薦/他薦にて広く募集します。(どなたでもご応募、ご推薦できます!)

下記ウェブサイトより応募ガイドライン・応募/推薦用紙(Microsoft Word形式、PDF形式)をダウンロードし、必要事項をご記入の上、Eメール、ファックス、郵送にてご応募ください。

応募ガイドライン・応募/推薦用紙

<https://www.jpff.go.jp/j/about/citizen/guideline/>



**件数** 各団体および各個人は、最大5件まで応募/推薦できます。

**締切** 2020年8月24日(月)〈郵送の場合は、当日消印有効〉

**お問い合わせ：送付先**

国際交流基金 コミュニケーションセンター 地球市民賞事務局  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーゼ  
Tel. 03-5369-6075 / Fax. 03-5369-6044  
Eメール [chikyushimin@jpff.go.jp](mailto:chikyushimin@jpff.go.jp)

※応募/推薦用紙は2020年度版をお使いください。

※応募/推薦用紙受理後、内容確認のため担当者よりご連絡を差し上げる場合があります。

※応募/推薦用紙をダウンロードできない場合は、事務局までご請求ください。

※選考の参考となる資料があれば添付、もしくは郵送ください。なお、ご提出いただいた書類及び資料は返却いたしませんので、ご了承ください。

## 受賞団体の発表

2021年1月下旬に国際交流基金ウェブサイトにて発表します。

※ご応募/ご推薦頂いた皆様には、Eメールまたは書面にて結果を通知いたします。

※授賞式は、2021年3月上旬に開催を予定しております。

受賞団体には、正賞(賞状)ならびに副賞(1件200万円)を贈呈いたします。

## 選考のプロセス



※事務局によるwebインタビューになる場合があります。

## 2019年度受賞団体の紹介

※授賞理由、受賞団体のコメントは授賞時のものです。

### 四日市市立西笹川中学校多文化共生サークル

(三重県四日市市)

#### 中学生が主体となって地域の活動に参加し、 多文化共生のまちづくりに貢献



##### ■授賞理由

西笹川中学校は外国人が多く暮らす四日市市笹川地区にある唯一の中学校で、外国にルーツを持つ生徒が3割を占めています。長年にわたる試行錯誤の中から、「多文化共生の鍵は若者にある」と考えた大人たちの呼びかけに応じ発足した「多文化共生サークル」は中学生が主体となって防災行事や夏祭り、文化祭等、地域のイベントに密接に関わりながら、多文化共生のまちづくりに参画しています。

中学生による地域活動は、地域への愛着がわいた生徒たちが卒業後もサークルを立ち上げたり、まちの行事に参加したりする等、外国人・日本人の垣根を越えた顔の見える関係づくりに貢献しています。

こうした取り組みはこれから外国人住民の増加が見込まれる他地域の参考となると考え、本賞を授与します。

##### ■受賞団体のコメント

この度は、2019年度の国際交流基金地球市民賞に選んでいただき誠にありがとうございます。

四日市市立西笹川中学校多文化共生サークルは設立5年目という若い団体です。外国人集住・少子高齢化が進むこの地域で、中学校として何ができるのかを考え、試行錯誤を経て「既存の部活動・生徒会とは違う自主的な活動」である本サークルが生まれました。私どもがこのような喜びを得ることができましたのは、この活動の発起人である小林誠前校長はじめ、諸先輩方の絶え間ない努力と地域の方々への支えやご指導に恵まれたおかげです。心から感謝しております。今後も地域社会と多文化共生のために尽力していきます。

#### 特定非営利活動法人

### ハート・オブ・ゴールド

(岡山県岡山市)

#### 「心身ともに健全な育成」 対等な交流と多様な連携に基づき協働を実現



##### ■授賞理由

ハート・オブ・ゴールドは、1996年12月にカンボジアで開催された国際ハーフマラソンの運営に関わった人々によって設立されました。その活動は、被災地や紛争地および開発途上国の子どもたち、障がい者、貧困層の人々に対して、体育教育支援や養護施設・青少年人材の育成を目的とした日本語教室の運営、県内各所と連携した交流等、「心身ともに健全な育成」という理念に基づき、大きく広がっています。

こうした支援活動の多くが、支援する側とされる側の立場に格差が生じがちですが、同団体は、対等な交流を目指し、マラソン大会の運営や日本語教室の活動を現地に移譲する等、現地で、自立かつ持続的に活動ができるような枠組みを作っており、また官・学・民を大きく巻き込んで連携し協働を実現している点は、複雑な社会課題の解決方法として注目されるもので、支援活動に関わる全ての団体にとって一つの手本となると考え、本賞を授与します。

##### ■受賞団体のコメント

ハート・オブ・ゴールドが20年にわたって活動してきたミッションは、人材育成一人づくりです。機会を与えられなかった人々が自ら起き上がって、自分で人生を変えていく力とチャンス「教育」という手段でコツコツと進めてまいりました。人づくりは時間がかかります。でもハード支援と違って、ソフト支援は朽ちることはなく広がっていきます。

今回の名誉ある国際交流基金地球市民賞の受賞は、共に活動していただいた学校、企業、団体、個人の方々等に頂いた賞と感謝、共に育つ(共育)団体として今後も邁進して参ります。ありがとうございました。

### 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ実行委員会

(沖縄県那覇市)

#### 豊かな芸術体験は「命の薬」 地域と世界と人々をつなぐ国際児童演劇祭を運営



##### ■授賞理由

国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ実行委員会が沖縄で運営してきた同フェスティバル(通称「りっかりっか\*フェスタ」)は、ファミリーのための国際舞台芸術フェスティバルです。豊かな芸術体験は「ヌチグスイ=命の薬」との考えから、子どもたちや地元の人々が独創的で上質な世界中の舞台公演に気軽に触れる機会を長年提供してきました。

ノンバーバル(言葉を用いない)を中心とした作品によって子どもたちの感受性や想像力を育み、お互いの違いを受容し認め合うことを目指し、毎回10か国前後の約20作品を上演。いまや世界各国の演劇関係者が集うアジアの演劇フェスティバルネットワークのハブとなり、鑑賞者と劇場、劇団員、地元住民、商店街、ボランティア、海外からのインターン等、地域と世界と人々の心をつなぐ国際文化交流の好事例となっています。

##### ■受賞団体のコメント

この度は、名誉ある賞を頂きまして、誠にありがとうございます。

この度、受賞できましたのは、日々応援して下さいの関係者の皆様、支えて下さっているスタッフの皆様、そして、フェスティバルを楽しみにして下さるお客様のおかげであると身に染みて感じております。感謝の言葉を述べると尽きませんが、この賞を頂いた喜びをたくさんの方々と共有させていただき、感謝の気持ちを伝えさせていただきたいと思っております。

そしてさらに、この賞に恥じぬようますます精進していきたいと、身の引き締まる思いで決意を固めております。

## 最近の受賞団体(2014~2019)

年度	団体名	活動内容
2019	四日市市立西笹川中学校多文化共生サークル	西笹川中学校は外国にルーツを持つ生徒が3割を占める。「多文化共生サークル」は中学生が主体となって防災行事や夏祭り、文化祭等、地域のイベントに密接に関わりながら、多文化共生のまちづくりに参画している。
	特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド	「心身ともに健全な育成」という理念に基づき、被災地や紛争地および開発途上国の子供達、障がい者、貧困層の人々に対して、体育教育支援や養護施設・青少年人材の育成を目的とした日本語教室の運営、県内各所と連携した交流を行っている。
	国際児童・青少年演劇フェスティバル おきなわ実行委員会	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ(通称「りっかりっか*フェスタ」)は、豊かな芸術体験は「ヌチグスイ=命の薬」との考えから、子どもたちや地元の人々が独創的で上質な世界中の舞台公演に気軽に触れる機会を長年提供してきた。
2018	小松サマースクール実行委員会	石川県小松市で毎年開催される高校生のためのサマースクール。日米の大学生が企画や運営のほぼ全てを行っている。高校生たちが多様な年代や文化背景を持つ人たちと出会い、国際交流の価値に触れる取り組みとなっている。
	一般社団法人 グローバル人財サポート浜松	独自のカリキュラムや教材を開発し、介護の現場に必要な日本語や技能の指導を行い、定住外国人の就労支援を行なっている。学生の社会貢献活動の支援や、浜松市内の介護事業者の組合活動など、多岐にわたる活動を行っている。
	特定非営利活動法人 バンゲア	ICT技術を使い、世界中の子どもたちが出会い、コミュニケーションできるプラットフォームを運営している。「ピクトン」という絵文字や機械翻訳「げんごろう」を開発、使用言語による序列化を起こさない姿勢を貫いている。
2017	芝園団地自治会	住民の4割を超える外国人住民と日本人住民の生活習慣の違いから生じる溝を埋めるべく、学生団体「芝園かけはしプロジェクト」と協働し「多文化共生の地元づくり」を推進している。
	特定非営利活動法人 Nagomi Visit	海外から訪れる人々が日本で「ホームビジット」体験ができるよう、訪問者と一般家庭のマッチングを行っている。日本の一般家庭で家庭料理を食べながら2、3時間の気軽な国際交流を行うこの活動は年々広がりを見せている。
	特定非営利活動法人 黄金町エリアマネジメントセンター	横浜市初黄・日ノ出町地区を主な活動エリアとし、地域・行政・警察・大学・アーティスト等と連携しながら、アートを通じて創造的で特色ある「界限」の形成を進めている。
2016	ノルテ・ハボン(コスキン・エン・ハボン開催事務局)	福島県川俣町で中南米音楽祭「コスキン・エン・ハボン」を開催。1975年に始まり、現在では1万人を集める国内最大級の「フォルクローレ」イベントに成長。
	一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団	多文化共生事業や地球市民育成事業等を通じ、地域のグローバル化の課題に市民レベルで取り組む。2016年の熊本地震では、活動によって培われた日常の地域の“つながり”が大きな力を発揮した。
	硫黄島地区会	硫黄島はギニアの太鼓「ジャンベ」の島として知られている。1994年の「ジャンベの神様」ママディ・ケイタ氏の来島以降、ジャンベを通じた国際交流が活発に続けられている。
2015	特定非営利活動法人 Peace Field Japan	イスラエル、パレスチナ、日本の女子高校生・大学生が里山での共同生活を通じ、互いの違いを認め、乗り越え、ともに生きる価値と意義を見出す活動を実践。
	公益財団法人 山本能楽堂	これまで日本の伝統芸能が知られていなかった中・東欧での能公演やワークショップなどの国際交流を通じ伝統芸能の可能性を広げている。同時に、能に関するアプリの開発を支援し、内外で伝統芸能への理解を深める活動を行っている。
	特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター	外国人が多く居住する神戸市長田区を拠点に、定住外国人の自立支援を行っている。特に、進学を望む子どもたちへの学習支援、高齢者の居場所づくりなどを行う。
2014	特定非営利活動法人 プラス・アーツ	阪神・淡路大震災の教訓をもとに、デザインやアートの力を活用し、「楽しく防災を学ぶ」プログラムを考案、多様なパートナーと連携し、国内外で普及活動を展開。
	特定非営利活動法人 なら国際映画祭実行委員会	世界で活躍できる次世代育成を目的とする国際映画祭を開催。世界の若手監督による奈良を舞台とした映画の製作を支援し、作品を通じ、奈良の魅力を世界に発信。
	特定非営利活動法人 アメリジアンスクール・イン・オキナワ	日本と米国の二つの文化を等しく尊重する「ダブル」として誇りを持って成長できる、バイリンガルの教育の機会を提供。

※最近の受賞団体順に掲載。1985年度から2013年度までの受賞団体につきましては、下記のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jpff.go.jp/about/citizen/>

## 中国地方

### 〈鳥取県〉

- 特定非営利活動法人 鳥の劇場 [2011]
- 智頭町活性化プロジェクト集団 [1995]

### 〈島根県〉

- 特定非営利活動法人 あしぶえ [2002]

### 〈岡山県〉

- ★ 特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド [2019]

### 〈広島県〉

- 広島アジア文化会館 [1988]

## 四国地方

### 〈徳島県〉

- 特定非営利活動法人 グリーンバレー [2009]

### 〈香川県〉

- 公益社団法人 セカンドハンド [2004]

### 〈愛媛県〉

- 特定非営利活動法人  
えひめグローバルネットワーク [2007]

### 〈高知県〉

- Genki 青年会 [2005]
- 高知市立高知商業高等学校生徒会 [2002]

## 近畿地方

### 〈三重県〉

- ★ 四日市市立西笹川中学校多文化共生サークル [2019]
- 財団法人 大内山塾 [1988]

### 〈滋賀県〉

- 東近江大風保存会 [2001]

### 〈京都府〉

- 特定非営利活動法人 バンゲア [2018]
- 特定非営利活動法人 テラルネッサンス [2012]
- 特定非営利活動法人  
ジャパン・コンテンツ・ダンス・ネットワーク(JCDN) [2006]
- 財団法人 母と学生の会 京都支部  
「国際女子留学生センター」 [1987]
- 公益財団法人 京都「国際学生の家」 [1985]

### 〈大阪府〉

- 公益財団法人 山本能楽堂 [2015]
- 社会福祉法人 こころの家族  
特別養護老人ホーム故郷の家 [2001]
- 特定非営利活動法人 多文化共生センター  
(旧・外国人地震情報センター) [1995]
- 特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会 [1994]
- 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 [1986]

### 〈兵庫県〉

- 特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター [2015]
- 特定非営利活動法人 プラス・アーツ [2014]
- 特定非営利活動法人 ダンスボックス [2010]
- 特定非営利活動法人 芸術と計画会議 (C.A.P.) [2007]
- 特定非営利活動法人 たかどりコミュニティセンター [2002]
- 特定非営利活動法人 多文化共生センター [1995]
- 神戸クロスカルチュラルセンター [1991]
- 公益財団法人 PHD協会 [1988]

### 〈奈良県〉

- 特定非営利活動法人 なら国際映画祭実行委員会 [2014]
- 一般財団法人 たんぽぽの家 [1994]

## 東北地方

### 〈青森県〉

- 特定非営利活動法人  
ジュニア・グローバル・トレーニングスクール [2006]

### 〈岩手県〉

- 陸前高田市国際交流協会(理事長特別賞) [2011]
- 藤沢町国際交流協会 [1998]
- 財団法人 岩手国際理解推進協会 [1992]
- 宮城県  
● 国際交流協会ともだちin名取(理事長特別賞) [2011]
- 特定非営利活動法人  
国際都市仙台を支える市民の会(ICAS) [1997]

### 〈秋田県〉

- 秋田県国際交流をすすめる婦人の会「わびえ」 [1995]

### 〈山形県〉

- 戸沢村国際交流協会 [2004]
- 特定非営利活動法人 IVY [1996]
- 置賜百姓交流会 [1993]
- 庄内国際交流協会 [1990]

### 〈福島県〉

- ノルテ・ハボン(コスキン・エン・ハボン開催事務局) [2016]
- 特定非営利活動法人 ザ・ピープル(理事長特別賞) [2011]

## 中部地方

### 〈新潟県〉

- ミディラー美術館 [1998]
- アース・セレブレーション実行委員会 [1994]

### 〈富山県〉

- スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド実行委員会 [2008]
- いなみ国際木彫刻キャンプ実行委員会 [1999]
- 一般社団法人 富山県芸術文化協会 [1990]
- 劇団文芸座 [1985]

### 〈石川県〉

- 小松サマースクール実行委員会 [2018]
- 金沢を世界へひらく市民の会 [1987]

### 〈福井県〉

- 武生国際音楽祭推進会議 [2003]

### 〈長野県〉

- 社団法人 長野国際親善クラブ [1993]
- いいだ人形劇フェスタ実行委員会 [1991]

### 〈岐阜県〉

- 特定非営利活動法人 ブラジル友の会 [2011]
- アーティスト・イン・レジデンス  
「美濃・紙の芸術村」実行委員会 [2003]

### 〈静岡県〉

- 一般社団法人 グローバル財サポート浜松 [2018]
- 特定非営利活動法人 浜松NPOネットワークセンター [2009]

### 〈愛知県〉

- 公益財団法人 豊田市国際交流協会 [2001]
- とこなめ国際やきもの  
ホームステイ実行委員会 [1997]

## 九州地方

### 〈福岡県〉

- 特定非営利活動法人 アジア女性センター [2007]
- 特定非営利活動法人  
アジア・太平洋子ども会議イン福岡 [1992]

### 〈佐賀県〉

- 玄海人クラブ [2000]
- 特定非営利活動法人 地球市民の会 [1989]

### 〈長崎県〉

- 長崎国際交流塾 [2004]
- 長崎県世界青年友の会(面白ちんぐ倶楽部) [1996]

### 〈熊本県〉

- 一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団 [2016]
- 特例社団法人 熊本たけのこ会 [1993]

### 〈大分県〉

- 国立大分工業高等専門学校  
足跡みシンボランティア部 [2012]

### 〈鹿児島県〉

- 硫黄島地区会 [2016]
- 太鼓集団 蒲生郷太鼓坊主 [1997]
- 特定非営利活動法人 からいも交流 [1986]

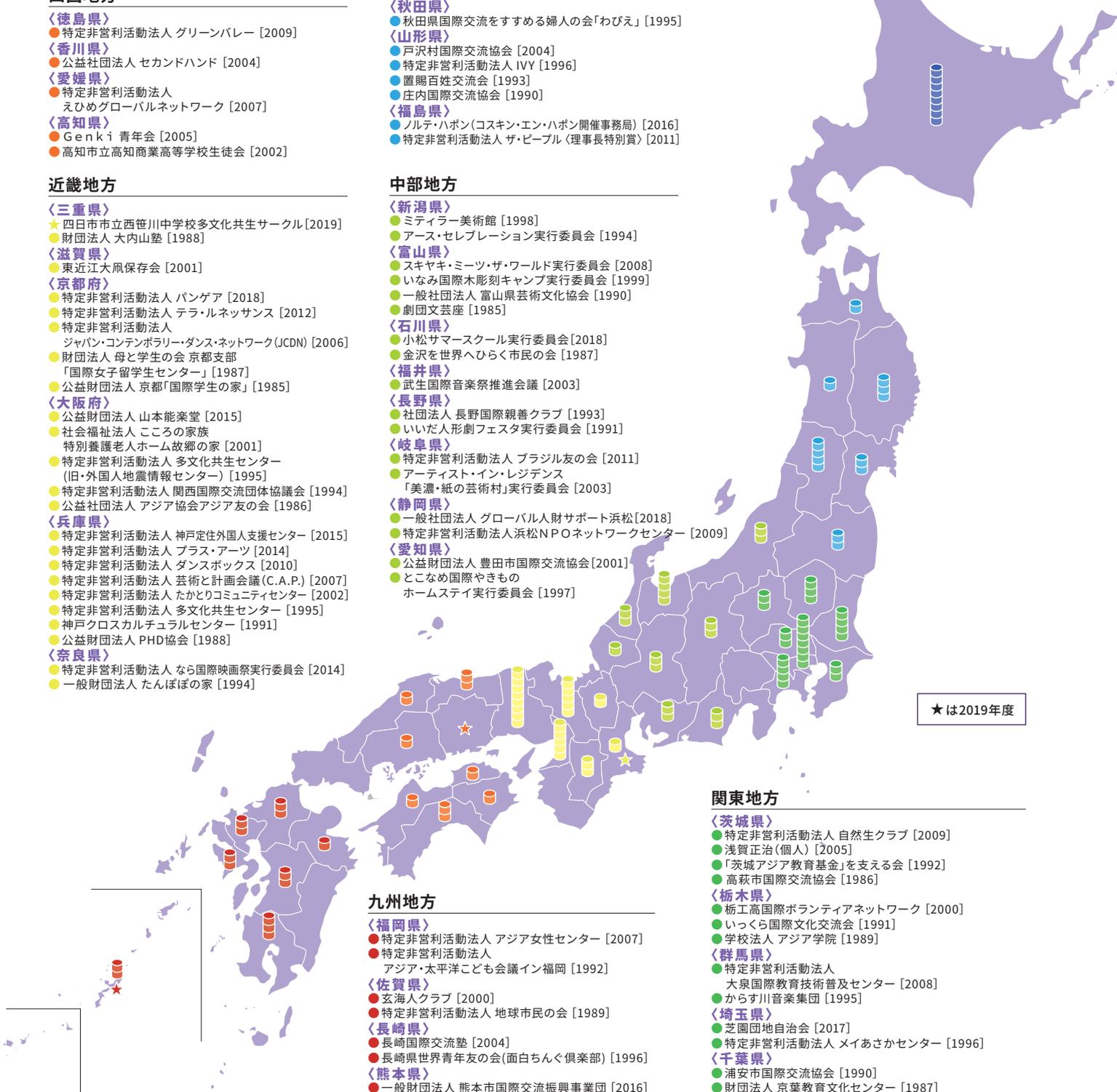
### 〈沖縄県〉

- ★ 国際児童・青少年演劇フェスティバル  
おきなわ実行委員会 [2019]
- 特定非営利活動法人  
アメリカンスクール・イン・オキナワ [2014]
- 琉球国際太鼓 [1999]

## 北海道

### 〈北海道〉

- 特定非営利活動法人 雪合戦インターナショナル [2013]
- 特定非営利活動法人 S-AIR [2008]
- 特定非営利活動法人 チェルノブイリへのかけはし [2005]
- 北方圏国際シンポジウム実行委員会 [2003]
- 江差追分会 [2000]
- 札幌こどもミュージカル育成会 [1998]
- 北海道国際女性協会 [1989]
- 一般財団法人 北海道国際交流センター [1985]



★は2019年度

## 関東地方

### 〈茨城県〉

- 特定非営利活動法人 自然生クラブ [2009]
- 浅賀正治(個人) [2005]
- 「茨城アジア教育基金」を支える会 [1992]
- 高萩市国際交流協会 [1986]

### 〈栃木県〉

- 栃高国際ボランティアネットワーク [2000]
- いっくら国際文化交流会 [1991]
- 学校法人 アジア学院 [1989]

### 〈群馬県〉

- 特定非営利活動法人  
大泉国際教育技術普及センター [2008]
- からす川音楽集団 [1995]

### 〈埼玉県〉

- 芝園団地自治会 [2017]
- 特定非営利活動法人 メイあさかセンター [1996]

### 〈千葉県〉

- 浦安市国際交流協会 [1990]
- 財団法人 京葉教育文化センター [1987]

### 〈東京都〉

- 特定非営利活動法人 Nagomi Visit [2017]
- 特定非営利活動法人 Peace Field Japan [2015]
- 特定非営利活動法人 難民支援協会 [2012]
- 特定非営利活動法人 かものはしプロジェクト [2011]
- 特定非営利活動法人 アクション [2010]
- 特定非営利活動法人 多文化共生センター東京 [2006]
- 財団法人 おはなしきゅらばんセンター [1999]

### 〈神奈川県〉

- 特定非営利活動法人 黄金町エイアマナマネジメントセンター [2017]
- 特定非営利活動法人 BankART1929 [2013]
- 特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ (MICかながわ) [2013]
- 多文化まちづくり工房 [2010]